

岐阜県立可児工業高校で防災講座を行いました

令和4年10月19日（水）、岐阜県立可児工業高校で後期生徒会役員6名に防災講座を行いました。学校の近くには、木曾川や可児川が流れています。

この地域では、平成22年7月15日の集中豪雨で可児川が氾濫し大きな被害が発生、また、令和2年7月豪雨や令和3年8月の大雨では、木曾川の今渡観測所で出動水位を超える水位を観測しました。

講座では、VRで浸水を疑似体験して水害の怖さを実感した後、ドアが開かなくなったり歩行困難な浸水深についてクイズを交えながら学んだり、伊勢湾台風などの過去の災害から近年発生した災害について学習しました。また、ハザードマップで浸水想定区域を確認するなど、生徒の皆さんは真剣に取り組んでいました。

講座を通して、「正しい知識と早めの判断を大切にしたい」「災害時、すぐに動かないと危ないということを知れたので、もっと防災について学びたい」「家族で避難所の確認をしておきたい」などの感想がありました。

今回の防災講座が、生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

